

第67回 作文教育研究大会

主催 大阪綴方の会・大阪国語教育連盟

後援 大阪府教育委員会

私たちは、子どもの文章表現を、子どもたちの生きている喜びと、よりよく生きようとする実人生の充実に関わるものとしてとらえ、作文教育を日々の教育活動の根幹の一つにして実践を重ねてきました。子どもたちの健やかな成長を願い、作文教育の内容と方法を実践的に考えようと、下記のように研究会を計画しました。特別企画として絵本読み聞かせの第一人者 鈴木 健司さんをお招きすることができました。誘い合わせて多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。



申し込みは↑

子どもの豊かな生活と表現をめざして

いま、子どもの表現をどう受けとめるか

●日時 2025年 2月 15日 (土曜日) 午前10時～午後4時20分 (受付9時30分)

●会場 大阪府立労働センター (エルおおさか) **オンライン参加もできます。**

* 午前の部 (午前10時～12時)

実践報告 私の学級の子どもと作文

報告 網谷 山人 (箕面市立東小学校)

研究討議 いまなぜ作文教育が大切か

◇討議参加者

- ・片桐 理 (大阪国語教育連盟委員長)
- ・中谷 梓 (枚方市立交北小学校)
- ・十川 康彦 (淡路市立多賀小)
- ・米山 朋宏 (河内長野市立長野小)
- ・新 真緒 (大阪市立喜連西小)

司会 大村 一 (大阪綴方の会委員)

* 午後の部 (実践報告と討議 午後1時～2時45分 特別企画 午後3時～4時15分)

実践報告 作文をこう読み、こう授業をした

報告 神原 典子 (大阪綴方の会委員)

研究討議 作文をどう読むか、作文の授業をどう進めるか。

◇討議参加者

- ・勝村 謙司 (大阪綴方の会委員)
- ・吉岡 尚孝 (関西福祉科学大准教授)
- ・棚田 惇碁 (大阪綴方の会委員)
- ・斧原 優子 (守口市立佐太小)
- ・石田 桃子 (枚方市立桜丘小)

司会 秦 由子 (大阪綴方の会委員)

特別企画 絵本が子どもに届けるもの

よみきかせボランティア三丁目の鷹 鈴木 健司

閉会挨拶 作文、この良きもの

杉山 和正 (大阪綴方の会代表)

全体進行 坂本 朋子 (大阪市立荻田小)

参加申し込み方法

①記載のQRコードを読み取り、必要事項を入力の上、送信してください。

②メールの場合…名前、住所、電話番号、「対面、オンライン」を明記して杉山宛てに送って下さい。

申し込み締め切り **2月10日 (月)**

●資料代 1000円 学生 500円

郵便振替 (窓口青色用紙) 【口座番号】00980-5-4169

郵貯銀行ATMの場合 記号 14020 番号 5971831

【加入者名】国語教育連盟 入金確認後、ミーティングIDをお知らせします。

●問い合わせ先 〒586-0068 河内長野市北青葉台31-4 杉山 和正 TEL 090-9052-9330

大阪国語教育連盟HP http://www.eonet.ne.jp/~osaka-kokugo_sugi-f@wj8.so-net.ne.jp

【講師紹介】すずき けんじ・・・絵本の販売会社に勤める傍ら、長年、保育現場などで読み聞かせを積み重ね研究もすすめる。著作物『さんぽにいったバナナ』(福音館書店)『絵本』(庭プレス)



↑送料込み1000円
注文は杉山まで。